【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公表番号】特表2016-509535(P2016-509535A)
【公表日】平成28年3月31日(2016.3.31)
【年通号数】公開・登録公報2016-019
【出願番号】特願2015-554291(P2015-554291)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ　53/047　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　16/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ　53/047
Ａ６１Ｍ　16/10　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成29年1月19日(2017.1.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の自律的酸素分離ユニットを収容するための支持体と、
前記支持体に取り付け可能且つ取り外しできるように取り付け可能な前記複数の自律的酸素分離ユニットと、
を有し、
前記酸素分離ユニットの各々は、酸素から離すように、ガスを有する酸素のうちの少なくとも１つの成分を吸着することによって、前記ガスを有する酸素から前記酸素を分離するのに適した酸素分離吸着剤を具備する少なくとも１つの酸素分離装置と、前記酸素分離装置を通じて、前記ガスを有する酸素のフローをガイドするためのガス輸送装置とを有し、
前記ガス輸送装置は、圧縮器を有する、酸素分離システム。
【請求項２】
前記酸素分離ユニットの各々は、エネルギー源を有する、請求項１記載の酸素分離システム。
【請求項３】
前記ガス輸送装置は、圧電流体ポンプを有する、請求項１又は２に記載の酸素分離システム。
【請求項４】
異なるガス輸送装置が、段階をずらして機能するように構成される、請求項１乃至３のいずれか１項に記載の酸素分離システム。
【請求項５】
前記複数の自律的酸素分離ユニットの各々は、前記酸素分離システムによって供給可能な酸素富化ガスの総流量の５％以上且つ３０％以下に対応する酸素富化ガスのフローを供給可能である、請求項１乃至４のいずれか１項に記載の酸素分離システム。
【請求項６】
前記酸素分離システムは、前記酸素分離装置の下流に配置される追加のアキュムレータを除外する、請求項１乃至５のいずれか１項に記載の酸素分離システム。

【請求項７】
前記酸素分離システムは、冷却装置を除外する、請求項１乃至６のいずれか１項に記載の酸素分離システム。
【請求項８】
前記支持体は、織物材料から形成される、請求項１乃至７のいずれか１項に記載の酸素分離システム。
【請求項９】
前記支持体は、少なくとも部分的に、多孔質材から形成される、請求項１乃至８のいずれか１項に記載の酸素分離システム。
【請求項１０】
追加的な電気負荷にエネルギーを供給するエネルギー源が供給される、請求項１乃至９のいずれか１項に記載の酸素分離システム。
【請求項１１】
前記支持体が、コート又はベストなどの衣服の一部である、請求項１乃至１０のいずれか１項に記載の酸素分離システム。
【請求項１２】
請求項１乃至１１のいずれか１項に記載の酸素分離システムを用いることによって、酸素富化ガスのフローを生成する方法であって、
ａ）請求項１乃至１１のいずれか１項に記載の酸素分離システムを供給するステップと、
ｂ）複数のガス輸送装置によって、複数の酸素分離装置の一次側に、ガスを有する酸素をガイドするステップと、
ｃ）前記複数の酸素分離装置の前記一次側と二次側との間に圧力差を作ることによって、前記酸素分離装置を通じて前記ガスを有する酸素を流れさせ、これにより、前記酸素分離装置の前記二次側において前記酸素富化ガスのフローを生成するステップと、
を有する、方法。
【請求項１３】
異なる酸素分離装置が、段階をずらして動作される、請求項１２記載の方法。
【請求項１４】
前記複数の酸素分離ユニットの各々は、前記酸素富化ガスの総生成流量の５％以上且つ３０％以下の量の酸素富化ガスのフローを供給する、請求項１２又は１３に記載の方法。
【請求項１５】
請求項１乃至１１のいずれか１項に記載の酸素分離システムを支持するために取り付け可能である酸素分離ユニットであって、前記酸素分離ユニットは、酸素から離すように、ガスを有する酸素のうちの少なくとも１つの成分を吸着することによって、前記ガスを有する酸素から前記酸素を分離可能な酸素分離吸着剤を具備する少なくとも１つの酸素分離装置と、前記酸素分離装置を通じて、前記ガスを有する酸素のフローをガイドするためのガス輸送装置とを有する、酸素分離ユニット。